



大坂山の登山道から見る呉ダム



九州自然歩道の旅④

福島 優



を越えて仲哀隧道を行く道でしたが現在は通行止め。新仲哀トンネルは延長約1・4キロもあり、息苦しくなるので注意が必要。長いトンネルを抜けると香春町へ到着。ここからは大坂山（標高573メートル）へ登ります。



舗装された坂道を歩くと呉ダムが見えました。ダム湖畔に「呉ダム溪流公園」があります。溪流で遊んでいる子ども、ピクニックに来ている家族連れの憩いの場となっています。その公園から大坂山の山頂へはゆるやかにカーブしながら舗装が続きますが、九州自然歩道はまっすぐ山頂の方角へ急な

大坂山山頂は、360度の眺望があるのですが、九州自然歩道は山頂から0・4キロの地点で下山するコース。山の南側の登山道は急な坂道で下るときに滑りやすいなどと心配していたら、案の定、私も2、3回ほど滑ってしまいました。大坂山を下山すると県道204号に出ます。大きな人工物から森や山を

前回(10月10日付生活面)は、

全長約3千キロの九州自然歩道の平尾台からみやこ町まで紹介しました。今月は、福岡県香春町へと歩を進めます。

みやこ町へ入ると舗装路が続きます。田園と民家が並ぶのかな景観の中を歩いていると、自転車に乗った地元の方が話しかけてくれました。進行方向が一緒だったのでしばらく世間話。息子さんの出身大学が私と同じだったこともあり、盛り上がりました。

みやこ町—香春町

ダムと自然に思いはせ

地元の方から元気を頂き、みやこ町勝山を通ります。国道201号へ出ると数軒の店があり、物資を調達できます。自然歩道を踏破するときは2、3日間、山中にいてもいいところも、こういう場所があります。

登山道になっています。森の中をゆっくりと登りながら、ダムについて考えました。大規模な土木構造物や管理された公園を目にした後、森に入るとあらためて人と自然とのかわりを考えさせられます。治水や利水も大切ですが、草木や動物たちのことも思いを巡らせながら歩きました。

感じた13キロ、5時間の旅でした。来月は、源じいの森(福岡県赤村)を通ります。(九州自然歩道フォーラム会員 福岡市) 【お知らせ】 今月から、「もつと九州」面で第3木曜に掲載します。